

事例検討資料 (R4.11.14)

上球磨地域包括支援センター 石井絵理子

氏名：H・K様 (男性) 年齢：78歳

介護度：「要支援1」(令和4年6月27日～令和4年12月31日)

障害高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)：J1

認知症高齢者の日常生活自立度：IIa

(令和2年に介護認定申請し「要介護1」がおりたが、サービス利用なし)

既往・現病歴：主治医意見書より(令和4年7月6日)

- ・高血圧症 ・慢性閉塞性肺疾患 ・変形性腰椎症 ・陳旧ラクナ梗塞(R2.2)
- ・アルツハイマー型認知症(長谷川式=16点(R4.7) 前回、18点(R3.5))

内服薬：オルメテック(20mg)朝食後1錠、ラベプラゾール(10mg)朝食後1錠、
レミニール(8mg)朝・夕食後に各1錠、スピオルトレスピマット(28吸入)
シロスタゾール(100mg)朝・夕食後に各1錠、モーラステープL
チアプリド(25mg)朝・夕食後に各1錠、リリカ(75mg)朝・夕食後に各1錠

家族構成：本人・妻との二人暮らし。長男は同町に在住。長女：郡内に在住。

妻(73歳)は「要支援2」認定であり、R2.8～10に両人工膝関節置換術施行。
通所リハビリを週2回利用し、現在、1本杖(右口フスト)歩行にて自立。

生活歴：T町で5人兄弟の3番目として生誕。小学校進学と同時に奉公に出された。

転々と奉公で回り、その時に農機具の使い方や農業の仕方を学ばれた。

学校に通うことができなかつた為、字の読み書きができない。

28歳の時に結婚し、2人の子どもに恵まれる。

結婚後は農業をしながら、Y町の製材所2,3カ所転職し、63歳まで勤められた。

退職後～現在に至るまで、農業(米・野菜)やイノシシ・ニワトリなどを飼い、
育てた野菜は自宅前の無人販売に出し、お小遣い程度の稼ぎがあり、今の楽しみ
となっている。

昔から家の仕事(家事全般)は全く何もして来なかつたが、妻が両膝の手術を
してからは、洗濯物を干す・買い物の荷物を持つなどはされるようになった。

令和4年8月から介護サービス開始、現在は半日の通所リハビリを週1回利用し
ており、お休みすることなく利用することができる。

意向 本人：自分でも足の筋力が落ちたような感じがある。畑作業や鶏の世話などして過ごす時間が楽しい。リハビリをした方がいいと言われたけど、知らない人と同じ所に長い時間はいたくない。

妻：歩行が小刻みで不安定だったから先生に相談したら脳梗塞の影響と言われた2年前に比べると筋力は落ちていると思う。もの忘れもあって、薬も忘れるし、食事中的食べこぼしが多く掃除が大変。お風呂も最近は頭や背中を洗ってほしいと言ってくる。ちょっと疲れる時もあるけど、仕方ないです。

長女：父は頑固です。

他人には口調や態度も優しいけど、母に対しては機嫌が悪いと口調も荒くて亭主関白な所があります。母も膝の手術をしているので、介護負担が心配。父にはリハビリを受けてもらって自分の足で歩けることを維持してほしい。

ADL

移動：独歩。時々、不安定な時もあり、手製の竹杖を使う時もある。

畑に行くときは3輪車を運転していく。

食事：自立。箸又はスプーンを使用。口からの食べこぼしがある。飲み込み難い時もあるが、水分を取りながらであれば詰まらせる事はなく嚥下できる。

排泄：昼夜共にトイレを使用し、自立。

更衣：着る衣服の選択、着脱は自分でされる。

入浴：自宅で毎日入浴。最近になり、妻へ背中の洗身・洗髪してほしいと頼まれる

整容：洗顔・整髪・義歯洗浄は自分でされる。

IADL

服薬管理：飲み忘れがあった為、現在は妻が管理し、毎回、手渡し、内服を確認。

金銭管理：通帳等は全て妻が管理。少額を所持し、所持金の把握や使用はされる。

買い物：妻が車を運転し一緒に行く。欲しいものがあれば、買う。

掃除：妻

調理：妻

洗濯：本人が干すのみ。妻が取り入れ・畳む。

社会参加・コミュニケーション

・近所の方や友人との交流はあり、自宅への訪問客も多いが、地区の老人会等には参加されていない。

・日常の慣れた生活上の意思決定はできるが、学校を卒業されていないため、字の読み書きが苦手であり、書類などの手続きは家族が支援される。

・言葉がスムーズに出てこない時もあるが、会話は成立する。

・他人に対しては、人柄良く・笑顔もよく見せるが、家族（特に妻）に対しては、口調強く些細なことで起こる事がある。